

京都本法寺 秋季特別展

# 近現代の日本画

時代を代表する近現代日本画家たちの競演

2017年10月3日(火) ▶ 12月10日(日)

[時間] 午前10時～午後4時

[会場] 日蓮宗本山 京都本法寺・涅槃会館

[拝観料] 大人700円 中高生300円 ※小学生以下無料

巴の庭を合せてご拝観いただけます

10月16日(月)と11月25日(土)は拝観休止です。  
そのほかの休館日はお問い合わせください。

横山大観 木村武山 寺崎広業  
村上華岳 棟方志功 川合玉堂  
日本画というジャンルの誕生

明治政府の成立後、日本に近代化の波が押し寄せました。文明開化や欧化主義に後押しされ、政府は早急に『美術』という概念を輸入し、西洋画法を導入した教育に力をいれました。江戸時代に活躍した画壇は衰退、伝統的日本絵画の描き手に変革が迫られました。

伝統を旧弊とした風潮が落ち着くと、再び日本美術が見直され、岡倉天心らによる日本美術院の創立、そして京都画壇から興った東洋と西洋の融合を目指した創作運動などから、新たなジャンルとしての『日本画』が誕生しました。

本展では、明治・大正・昭和という近現代に活躍し、時代をつくった作家達の作品を中心にご覧いただきます。



「大聖日蓮菩薩尊像」棟方志功

特別出展

「一遍首題」加藤清正 (京都府常照寺蔵)  
「日親上人御一代記版画」葛飾北斎 (東京都安立寺蔵)



「秋山帰樵図」寺崎広業



「普賢菩薩」(部分)木村武山



「栗鼠」(部分)横山大観

【期間限定】夜間拝観と巴の庭ライトアップ 11月3日(金)～26日(日)午後6～8時

※午後4～6時は拝観できません



会期中に巴の庭の紅葉が見ごろを迎えます。